



真龍小便り

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.2 令和7年4月30日発行

やってみよう！

校長 廣瀬 巧

雪解けが早く進み、このまま暖かい日が続くことを期待しましたが、雨続きでなかなか暖かくなりません。冬は毎日雪が降ることにはないのに春になると毎日のように雨が降るのも不思議に思います。新学期が始まって1月が経とうとしています。1年生も学校に慣れ始め、楽しそうに過ごす様子が見られます。過日行われました参観日には多数の保護者の方にご来校をいただきありがとうございました。新学期のお子様の様子はどうだったでしょうか。各学級では、新たな1年のために工夫しながら体制を整え指導に当たっているところです。これからますます担任や子どもの持ち味が発揮されてきますので、学校での様子やお子様の様子を気にかけていただくとありがたいです。

「はじめは、ちょっとこわくてドキドキしてたけど、やってみたら思ったより簡単で気持ちよくて、楽しかった。」

テレビのニュース映像でよくこのような子どものインタビューが流れます。「前からやってみたくて、期待通りに楽しかった」とか「期待していたのがっかりでした」という映像は子どものインタビューではあまり見かけません。ある意味フォーマットなのかもしれませんが、初めての体験の場合、おとなでも「ちょっと…だったけど」はあるはずです。私は特にそのように思って、前の日から不安になったり緊張したりしますし、始まる瞬間まで「誰か代わりにやってくれないかな」とさえ思います。終わってしまえばなんていうことがないことでもそうなるのはどうしたことかとよくよく考えてみると、苦手意識や単に気乗りしないのが原因のようにも感じます。

子どもたちの学校での学習は、国語・算数という分け方と同じことを繰り返し返しているようにも思われがちですが、もう少し詳しく見ると、場面や条件が違ったり、視点が変わったりなど新しいこととの出会いがとても多いです。子どもたちには、難しいことでもちょっと尻込みしそうなことでも思い切って挑戦する気持ちを大切に毎日過ごしてほしいと願っています。たとえ失敗しても、うまくいかに方針転換してもいいのです。毎日の挑戦を通して自分に合ったことや得意なことを見つけながら成長してほしいのです。1日の約3分の1を学校で生活する子どもたちが成長の過程で身につけることは、教科書の内容だけではありません。学校での生活の決まりやルーティーン、人と関わるためのコミュニケーション能力、生活の仕方を調整する力、健康を維持するための知識などなど具体をあげるときりがありません。もちろん家庭でも様々なことを身につけます。まさに生活のすべてが学習ともいえます。子ども自身も感覚的であったとしてもそのことを分かっている「これができるようになりたい」というような思いを持ちます。

その実現のためには、計画や目標も大切な要素ですが、まずは「やってみよう」という気持ちは欠かせません。極端な話ですが、新しい知識や技能は、伝えるのにそれほどの難しさはありません。話をすればよいだけです。しかし、学ぼうとする思いや意思といった意欲は、伝えるだけで身につくことはありません。きっかけとしては、教師の言葉かけ、家族や友達の勧めや励まし、あるいは好きなタレントの影響など様々考えられます。周囲の人ができることは実はきっかけを与えるところまでかもしれません。やってみようかなと思ひ、行動するのはあくまで自分自身です。

先日行われた1年生を迎える会では、1年生のためにという思いで発表をしてくれました。毎日の生活の中でも相手を思いながら行動することも大切、同時に明日の自分のために行動することも大事にしてほしいと話しました。やってみよう！という気持ちを大切に活躍してほしいところです。ご家庭におかれましては、お子様の様子を見守りつつ励まして後押しをさせていただくなど、本年度もご協力をお願いいたします。

日	曜	5月の主な行事
1	木	短縮日課 保護者面談⑤
2	金	短縮日課 保護者面談⑥
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	委員会③ コンキリエ避難訓練(～21日)
8	木	短縮日課 避難訓練(火災)
9	金	短縮日課 耳鼻科検診(1・4年)
10	土	
11	日	
12	月	講話朝会① 歯科検診(6年) QU・いじめアンケート(～16日) 生活リズムチェック週間(～18日)
13	火	短縮日課 児童総会 尿検査(5・6年)
14	水	避難訓練(不審者) 歯科検診(4・5年) 放課後学習①
15	木	短縮日課 歯科検診(2・3年) 下校見守り活動(民生委員)
16	金	短縮日課 遠足
17	土	
18	日	
19	月	運動会特別時間割開始 4時間授業日
20	火	短縮日課 租税教室(6年) 尿検査(3・4年)
21	水	内科健診(2年)
22	木	短縮日課 尿検査(1・2年)
23	金	短縮日課
24	土	
25	日	
26	月	内科検診(1年) リレー練習(中休み) 少年団グラウンド使用禁止(～6月7日)
27	火	短縮日課 歯科検診(1年) 内科検診(3年)
28	水	リレー練習(中休み) 実行委員会①
29	木	短縮日課 運動会座席抽選
30	金	短縮日課
31	土	

5月の帰宅時刻 18:00
 この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

1年生を迎える会

4月25日、1年生を迎える会が行われました。ピカピカの1年生を、2年生から6年生までの全校児童が心をこめて迎えました。

各学年は、学校生活のきまりや学習内容を楽しく伝える出し物を披露しました。劇やクイズ、歌やダンスなど、工夫をこらした発表に、1年生は大喜びでした。

会の最後には、1年生が覚えたての校歌を元気いっぱいに歌い、お礼の言葉をしっかりと伝えてくれました。

これからの学校生活の中で、1年生のみなさんがさまざまな経験を重ねて成長していけるように、学校全体で温かく支えていきたいと思ひます。

学校からのお願い

■児童登校時間について■

7時50分～8時15分の間に登校できるように、家を出る時刻を決めてください。7時50分前には児童玄関が開きませんので、児童の安全のためにも登校時間を厳守していただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。また、8時15分には、朝学習や朝の会がスタートできるようにするため、余裕をもって登校するようにしてください。

■登下校時の安全確保について■

児童の登下校時は大変混み合うため、校地内は一方通行になっております。児童が駐車場を横切って校舎に向かうことを優先し、児童の安全な歩行を確保するため、教員による誘導を行っておりますので、誘導の指示に必ず従ってください。特にスクールバス（最大で4台）の進入を優先させていただきますのでご協力をお願いいたします。また、児童の健康促進と体力向上のために、可能な限り、徒歩での登下校にご協力をお願いします。

■子どもの安全確保のために■

欠席や遅刻をする場合は、8時10分までに必ず連絡をお願いします。連絡なくお子さんが登校していない場合、ご自宅や携帯電話へ学校から連絡させていただきます。尚、5月より、安心・安全メールを活用した欠席・遅刻届け出システムの運用を予定しております。詳しくは、後日配付する文書にてお知らせいたします。

■担任への連絡について■

担任への連絡がある場合、学校に連絡するようお願いいたします。午後5時までにご連絡いただくようご協力をお願いします。また、SNSやメールを使っての担任とのやりとりがトラブルの原因となる事例が報告されています。担任との連絡には、SNS等を使用しないよう重ねてお願いいたします。

■緊急時の連絡について■

今年度も学校からの緊急連絡は「安心・安全メール」で行います。保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、緊急の連絡はメールでの連絡になりますので、常時着信状況を確認するようご協力をお願いいたします。

「私たちの宣言！」について

本日、「私たちの宣言！令和7年度版」を配付しました。内容については、昨年12月に行われた子ども☆未来ミーティングで町内各校の児童生徒代表が集まり、見直しが行われました。その際、子ども達から「ぜひ家の人たちにも知ってほしい」という声が上がりました。保護者の皆様もお子さんと一緒にご覧いただき、情報端末機器の使い方についてのルール作りや環境づくりに役立てていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

算数の少人数指導を実施します

今年度も、算数の基礎・基本の定着と、個別最適化の授業展開を目的に、少人数指導を実施します。この制度は、国による教員定数の加配措置によって行われているものです。2年生以上の学級を少人数に編成して実施していきます。

1つの教室に2人の教師が入って指導するTT（チーム・ティーチング）による学習や、個々の児童の習熟度に応じたコースに分けて学習を行います。少人数で指導することにより、個別最適化した指導ができるようになります。じっくりと学ぶことで、算数の力を伸ばしていきます。

外国語専科指導について

今年度も3・4年生の外国語活動と5・6年生の外国語の授業は、専科指導教諭が担当します。ALTと一緒に会話を重視した授業を展開し、将来役立つ生きた英語指導を行っていきます。

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『であえてほんとうによかった』

作・絵／宮西 達也(ポプラ社)
真龍おはなし隊 山本 志野

むかしむかしの恐竜のお話。

スピノサウルスのこども「メソメソ」が、病気のおかあさんを治すためにあかい実をとりに来た時のこと。

凶暴なティラノサウルスがうまさうなスピノサウルスのメソメソを見つけ、食べようとしていました。

その時、大きな地震が来て、激しい地響きが起こり、地面が二つに裂けてしまいました。

地面が二つに分かれ、スピノサウルスのメソメソとティラノサウルスは、割れた地面の上に乗ったまま海に流されてしまいます。

スピノサウルスのメソメソは魚を取るのが得意です。ティラノサウルスに「魚をたくさん食べさせてあげるから、どうか僕を食べないで！」と訴え、メソメソを食べるのをやめたティラノサウルスと、小さな島での二人きりの生活が始まりました。

二人きりの生活の中で、ティラノサウルスは、メソメソから初めて言われる言葉の数々から「優しい気持ち」を学んでいきます。

最後に二人を待っていた結末とは…

幅広い年齢層で楽しめる絵本です。
厚岸情報館に所蔵があります。



読み聞かせボランティア募集

今年度も読み聞かせボランティアがスタートします。現在もボランティアを募集しております。募集のお便りは、すでに配付しておりますが、「興味はあるけど、どんな活動をするのかな？」など、ご質問がある方は、学校までお問い合わせください。